

## 第23回 連続講座

# 共生フォーラムセミナー

2026年

開場 14:00 開始 14:30 ▶ 16:30

会場： 西区地域福祉センター3階

資料代： 500円(正会員、学生無料)

2/1(日)

主催： NPO 法人共生フォーラムひろしま

後援： 広島市・広島市教育委員会

## 多文化共生教育を考える

ーマイノリティを内面化するとはー

タカハシ ソウ  
講師：高橋 創さん

### 講師プロフィール

広島市出身。広島市内の高校を卒業後、福岡県の大学に進学、中退。その後、広島県内の一般企業に就職。高校在学中に部落解放研究部に所属し、広島地区部落研・解放研究生徒実行委員会に参加。在日コリアンや障害を持つ生徒とともに高校生による反差別の活動をおこなった。現在、NPO 法人共生フォーラムひろしま理事。

「多文化共生」という言葉が日本社会で一般的に使われるようになったのは 1990 年代からです。もともと「多文化共生」とは、マジョリティ社会におけるマイノリティへの差別撤廃と人権保障をめざしたマイノリティによるアイデンティティの政治を意味していました。そうした意味での「多文化共生」を実現するために必要なのは、マジョリティがマジョリティであることを自覚した上で、マイノリティの側に立つことなのです。そのキーワードが「マイノリティを内面化することだ」とわたしたちは考えています。このセミナーを通して差別のない多文化共生社会の実現に向けて何が必要なのかをともに考えましょう。

